



PRESS RELEASE

NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 2021/2022 SEASON BALLET 新国立劇場バレエ2021/2022シーズン

SWAN LAKE



NATIONAL BALLET OF JAPAN
New National Theatre, Tokyo



beyond 2020

The National Ballet of Japan
新国立劇場バレエ団

白鳥の湖 〈新制作〉 New Production

芸術監督：吉田 都 振付：マリウス・プティパ/レフ・イワノフ/ピーター・ライト 演出：ピーター・ライト 共同演出：ガリーナ・サムソワ
音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 美術・衣裳：フィリップ・ブローズ 照明：ピーター・タイガン 指揮：ポール・マーフィー/富田実里
音楽隊：東京フィルハーモニー交響楽団 Artistic Director: YOSHIDA Miyako Choreography by Marius PETIPA Lev IVANOV Sir Peter WRIGHT Production by Sir Peter WRIGHT
in association with Galina SAMSOVA Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY Set and Costume Designer: Philip PROUSE Lighting Designer: Peter TEIGEN Conductors: Paul MURPHY/TOMITA Misato Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

2021年 10/23(土)14:00, 24(日)14:00, 26(火)13:00, 30(土)13:00/18:30, 31(日)14:00, 11/2(火)14:00, 3(水・祝)14:00.

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / E-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

ドラマティックな展開で魅せる、古典の最高傑作

2021/2022 シーズンのオープニングは、古典バレエの名作中の名作『白鳥の湖』で幕を開けます。本作品は吉田都舞踊芸術監督の就任第1作目として2020年10月の上演が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の諸影響により延期となり、2021年10月の上演となりました。サー・ピーター・ライトによるプロダクションは、英国らしい演劇的要素が盛り込まれた重厚な作品となっており、各キャラクターの人物造形も明確で、ドラマティックな展開がお楽しみいただけます。テクニックのみならず、新国立劇場バレエ団ダンサーたちの演劇的な深みのある舞台にご期待ください。

作品について

シェイクスピア劇のような重厚感が加わった クラシック・バレエ永遠の傑作

クラシック・バレエのアイコン的な作品として有名な『白鳥の湖』。王子と姫の恋、それを邪魔する悪役、そして情景を美しく表現するコールド・バレエというクラシック・バレエの基本要素が凝縮され、バレエ団としての真価が問われる作品です。白鳥のオデットと黒鳥のオディールの二役を一人のダンサーが踊るのも『白鳥の湖』の大きな特徴で、主役ダンサーの性格の違う二役を踊り分けるテクニックと表現力は注目です。

また、チャイコフスキーの叙情的な音楽は「情景」「四羽の白鳥の踊り」など有名な曲も多く、耳にしたことがある方も多いはず。

そうしたクラシック・バレエの王道の魅力に加えて、ピーター・ライト版では演劇的な要素が加わり、まるでシェイクスピア劇のようなドラマティックさが際立ちます。フィリップ・プラウズによる重厚感のある美術・衣裳も、観客をその世界観へ誘います。



Photo by Takuya Uchiyama

説得力のあるストーリー展開とキャラクター設定

ピーター・ライト版ではプロローグ冒頭、なんと王の葬儀のシーンから物語がスタートします。このように、王子をはじめとするキャラクターたちの置かれた状況や設定が論理的に示され、それぞれの心理描写も緻密に表現されています。3幕の宮廷の舞踏会、王子の花嫁候補たちの踊りも独特な演出のひとつ。民族舞踊の群舞だけでなく、3人の花嫁候補がヴァリエーションを踊り、各々が国を代表してやってきたというストーリーがしっかりと見える演出となっています。その他、4幕のそれぞれが意思をもった白鳥たちのドラマティックな群舞や衝撃的なラストなど、ライト版の見どころは枚挙に暇がありません。厚みのあるストーリー展開をどうぞお楽しみください。

ものがたり

先王である父の死後、王子ジークフリードは新たな王として戴冠し、結婚することが求められていた。彼はそれまでの自由を失うことを恐れ、愛してもいない結婚相手を選ぶことのために悩んでいた。ジークフリード 21 歳の誕生日の夜、彼に弓矢のプレゼントを贈るために宮廷の友人たちが集った。友人でもある侍従ベンノがジークフリードの気晴らしのために催した宴の真最中に、王妃である母が現れる。宮廷がまだ喪に服している中での大騒ぎにショックを受けた王妃は、翌日には花嫁を選ばなくてはならないと王子に告げ、意気消沈した彼をその場に残留して立ち去る。ベンノはジークフリードを元気づけようと、友人たちと未来の王位継承を祝って乾杯のダンスを踊る。友人たちが帰っていった後、白鳥の一群が空を渡っていく。ベンノはジークフリードにプレゼントの弓矢を試すよう促し、二人は白鳥たちを追っていく。

湖岸に着いたジークフリード王子は、ベンノに白鳥を探しに行かせる。一人残った王子は、そこに魔術師ロートバルト卿の邪悪な存在を感じとる。突然一羽の白鳥が舞い降りてくる。そして王子が驚き見つめるなか、美しい乙女に姿を変える。その若い娘こそオデット姫であった。オデットと彼女の仲間たちはロートバルト卿によって白鳥の姿に変えられ、夜の間だけは人間の姿に戻れるのだ。オデットにかけられた魔法は、まだ恋をしたことをない者が彼女に永遠の愛を誓い、結婚の約束をすることで解くことができるという。ジークフリードはオデットへの永遠に続く真実の愛を誓う。姿を現したロートバルトにジークフリードが矢を向けるが、オデットはそれを遮り、魔術師が死ぬと、魔法の呪いは永久に解けなくなると話す。さらにオデットは、もしジークフリードが愛の誓いを破るようなことがあったら、彼女は永遠に白鳥の姿でいなくてはならないと伝える。やがて夜明けが訪れ、オデットと仲間たちは白鳥の姿に戻り、湖へと帰っていく。

翌日、壮麗なレセプションには、ジークフリード王子の結婚相手の候補として 3 人の王女が招かれていた。3 人の王女たちはそれぞれジークフリードのために踊りを披露するが、彼は心ここにあらずの様子で、花嫁を選ぶことを断ってしまう。ファンファーレが鳴り響き、予定されていなかった客人の到来を告げる。それは使節に身を扮したロートバルトと、魔法でオデットそっくりな姿を変えた、彼の娘オディールだった。

王子は驚くほどオデットに似たこの見知らぬ客人に心奪われ、やがてこの女性が白鳥の姫だと信じ込んでしまう…。

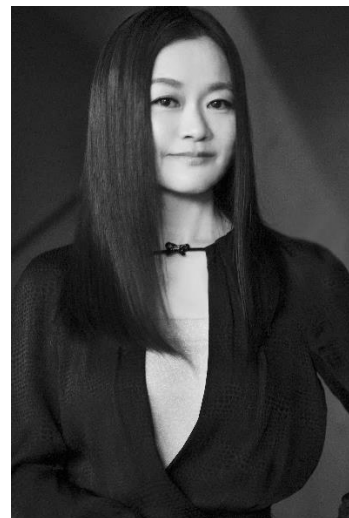


バーミンガム・ロイヤルバレエ公演より Photo by Bill Cooper

舞踊芸術監督 吉田都より上演に寄せて

この度、満を持して新制作の『白鳥の湖』を上演できることを嬉しく思います。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年10月上演予定から延期となりましたが、バレエ団のダンサーたちと関係を築きながら1年間歩んでまいりましたので、より良いものをお見せできると確信しております。

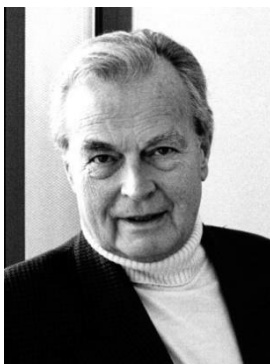
今回のピーター・ライト版の『白鳥の湖』は、英国でも長年上演され愛されている、特別な作品です。ドラマ性が際立つ演出で、バレエ団を演技の面でも引き上げてくれるものと思います。私自身もコール・ド・バレエから主演まで、あらゆる役を経験しましたが、どんな役も一人ひとりが役割を持って存在しているととてもロジカルな演出で、ダンサーたちも演技に自然と入りやすいのではないかと期待しています。



このような状況下ではありますが、だからこそ観に来てくださるお客様には夢心地になるような、上質の舞台をお届けしたいと切に思っております。ぜひ劇場にて、非日常の世界をお楽しみいただけましたら幸いです。

スタッフプロフィール

【振付・演出】ピーター・ライト (Peter WRIGHT)



ロンドン生まれ。複数のバレエ団でダンサーとして活躍。1957年サドラーズウェルズ・シアター・バレエで最初の振付作品『青いバラ』を創作。59年サドラーズウェルズ・オペラでバレエ・マスター、英国ロイヤルバレエ学校でバレエ教師を務める。61年ジョン・クラシコ設立のシュツットガルト・バレエ団でバレエ教師及びバレエ・マスターとして活躍。シュツットガルト・バレエ団で初演された初の改訂振付作品『ジゼル』は、後に英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエを始め世界の多くのバレエ団で上演。この他にも『眠れる森の美女』『コッペリア』『白鳥の湖』など彼の改訂した古典作品は世界各国のバレエ団でレパートリーとして上演されている。60年代テレビでのバレエ作品やウェスト・エンドのミュージカルの分野でも成功を収めた。69年ケネス・マクミランのアソシエイト・ディレクターとして英国ロイヤルバレエに戻り、77年サドラーズ・ウェルズ・ロイヤル・バレエ（後のバーミンガム・ロイヤルバレエ）の芸術監督に就任、95年芸術監督退任後、名誉芸術監督。バレエ界の数々の要職を歴任。85年大英帝国勲章 (CBE)、90年エリザベス2世戴冠賞、93年ナイト爵授与など。

【共同演出】ガリーナ・サムソワ (Galina SAMSOVA)



スターリンググラード（現ヴォルゴグラード）生まれ、キエフで活動を始める。西側への移住許可を受け、カナダ国立バレエに入団。プリンシパルとして数多くの作品を踊る。パリ国際舞踊フェスティバルでオリコフスキー『シンデレラ』を踊り金メダル受賞。その後ロンドン・フェスティバル・バレエに入団し活躍した。古典レパートリーの優れた表現者であり、カーター、ダレル、ハインド、プロコフスキーらの新作に主演。彼女のオデット／オディール、オーロラ姫、キトリは世界中で喝采を受け、またその演劇的な才能は、プロコフスキー『アンナ・カレーニナ』、マクミラン『イザドラ』、ダレル『シェリ』で発揮された。1978年サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエにプリンシパル兼教師として入団、81年に自身の演出で出演した『パキータ』が好評を得る。ライト版『白鳥の湖』でも共同演出をおこなった。国外でも演出家としての評判が高まり、『ラ・バヤデル影の王国』『海賊パ・ド・ドゥ』『ワルプルギスの夜』『ジゼル』『眠れる森の美女』等を手がけた。91年より97年までの間、スコティッシュ・バレエの芸術監督を務め、95年には同団のために全幕版『白鳥の湖』を演出、同年ウクライナにて名誉教授号を授与。



【美術・衣裳】 フィリップ・プロウズ (Philip PROWSE)

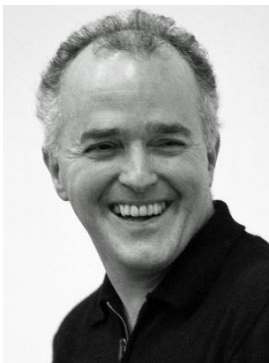
英国のスレイド・スクール・オブ・ファイン・アーツで学び、1961年にデザイナーとしてデビュー。演出家としても活躍し、1970~2003年までグラスゴウ市民劇場の共同芸術監督を務める。母校のスレイド・スクールで舞台美術を教え、後に同校の教授となった。



【照明】 ピーター・タイガン (Peter TEIGEN)

ノルウェー・オスロ生まれ。英国に渡り、ロンドン・シティ・バレエなどで専属照明デザイナーとして活躍。フリーとなってからは、マシュー・ボーン、マーク・ボールドヴィン、デヴィッド・ビントレー、ピーター・ライトといった今日高く評価されている振付家たちとともに舞台を制作。現在、英国バーミンガム・ロイヤルバレエ照明デザイン・コンサルタントとして海外公演における折衝役も担っている。

【指揮】 ポール・マーフィー (Paul MURPHY)



バーミンガム・ロイヤルバレエとそのオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。劇場での公演に加え、コンサートや収録でも共に仕事をしている。1994年以来、ロイヤルオペラハウス管弦楽団と定期的に仕事をしている。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBC ナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBC コンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等、英国の優れたオーケストラを多数指揮している。海外では、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ワシントン・ナショナル・オペラ管弦楽団、ソフィア・オペラ管弦楽団、シチリアのテアトロ・マッシモ管弦楽団等と仕事をしている。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、バレエ・アム・ライン、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、最近ではオーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。CD のリリースではハレ管弦楽団(サン・サーンスのピアノと管弦楽曲全曲)、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との共演がある。97年、英国王立音楽院のアソシエイトに選ばれた。新国立劇場では、『アラジン』『カルミナ・ブラーナ』『ガラントゥリーズ』『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』『パゴダの王子』ほかを指揮している。

【指揮】 富田実里 (TOMITA Misato)



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBA バレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『パキータ』『ペンギン・カフェ』を指揮した。

配役・プロフィール

2021年	10月23日 (土) 14:00	10月24日 (日) 14:00	10月26日 (火) 13:00	10月30日 (土) 13:00	10月30日 (土) 18:30	10月31日 (日) 14:00	11月2日 (火) 14:00	11月3日 (水・祝) 14:00
オデット／ オディール	米沢 唯	小野絢子	柴山紗帆	米沢 唯	小野絢子	木村優里	柴山紗帆	木村優里
ジークフリード 王子	福岡雄大	奥村康祐	井澤 駿	福岡雄大	奥村康祐	渡邊峻郁	井澤 駿	渡邊峻郁

【オデット／オディール】



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <ファースト・ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。21年ファースト・ソリストに昇格。



木村優里 KIMURA Yuri <ファースト・ソリスト>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。19年ファースト・ソリストに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。

【ジークフリード王子】



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。17, 19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、13年『ドン・キホーテ』にて主役デビュー。16年よりプリンシパル。古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、W.イーグリング『くるみ割り人形』ねずみの王様、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを初演している。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞。



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精・ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞。




渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、中村恩恵『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。

公演概要

2021/2022 シーズン

 令和3年度（第76回）文化庁芸術祭主催公演

新国立劇場バレエ団『白鳥の湖』<新制作>

Swan Lake

芸術監督	吉田 都
振付	マリウス・プティパ/レフ・イワーノフ/ピーター・ライト
演出	ピーター・ライト
共同演出	ガリーナ・サムソワ
音楽	ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
美術・衣裳	フィリップ・プロウズ
照明	ピーター・タイガン
指揮	ポール・マーフィー/冨田実里
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
出演	新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2021年10月23日（土）14：00
2021年10月24日（日）14：00
2021年10月26日（火）13：00
2021年10月30日（土）13：00／18：30
2021年10月31日（日）14：00
2021年11月2日（火）14：00
2021年11月3日（水・祝）14：00

【他劇場での公演日程】

サントミュージゼ 大ホール（長野）
2021年11月7日（日）14：00

- *ロビー開場は開演 60 分前、客席開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。
- *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。
- *10月26日（火）は1階～4階まで学校団体が入る予定のため、1階S席およびZ席のみの販売です。
- *11月2日（火）は4階席の一部に学校団体が入る予定です。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約2時間50分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/swanlake/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	14,300円	12,100円	8,800円	6,600円	4,400円	1,650円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2021年8月14日（土）10:00～16日（月）

バレエ／ダンス先行メンバーズ販売期間：2021年8月15日（日）10:00～16日（月）

一般発売日：2021年8月22日（日）10:00～

*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1階1列～2列の座席は販売いたしません。

*通常の座席配置（1階1列～2列を除く）での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【Pコード：505-959】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【Lコード：39691】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html